

氏名 江亮儀

法科大学院等の在籍年次 2L

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながらかき込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

・事務所名

One Asia Lawyers シンガポールオフィス(Focus Law Asia LLC)

・所在地

16 Raffles Quay #21-01 Hong Leong Building Singapore 048581

<http://oneasia.legal/office/singapore>

・滞在期間

2026年8月16日（日）～8月29日（土）

※インターンの期間は、8月17日（月）～8月28日（金）の10日間（土日休みを除く）

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

・事務所の構成

事務所には日本デスクとシンガポールデスクがあり、インターン期間中は主に日本デスクの先生方と業務を行いました。パラリーガルの方々はインター生のデスクのすぐ前にいらっしゃい、何か困ったことがあった¹際には、丁寧に対応していただきました。また、事務所にはシンガポール籍やマレーシア籍の事務員の方々もいらっしゃいました。弁護士の先生方やパラリーガルの方々の中にも複数の言語を話す方が多く、業務や日常のコミュニケーション

¹ 業務に関することだけでなく、シンガポールでの生活面についても様々なアドバイスをしてくださいました。

において、私は日本語・英語・中国語の三言語を使用する機会²がありました。さらに、現在シンガポールの南洋理工大学のMBA課程に在籍している方が今年6月からインターン生として勤務されており、日本の弁護士及び公認会計士の資格を有しています。

・インターンシップの内容・勤務条件など

■ インターン時間中(業務)

インターンの時間は、平日9時から18時³となります。勤務時間については比較的柔軟で、早めに出勤したり、必要に応じて遅くまで残って業務を行ったりすることも可能でした。私は基本的に毎日定時の約30分前に出勤し、定時に退勤していました。この時間中は、先生方の実際の業務の一部を切り取っていただく形で、主に次のような課題に取り組みました⁴。

- 所内打合せへの同席
- ヨロッパ諸国(オランダ、イギリス、ドイツ)及び台湾の相続制度に関する原稿作成のための調査
- シンガポールにおける育児に関する休暇（Childcare Leave）、休業規則見直し及びFWA（Flexible Work Arrangements）に関する書類（英語）の修正
- ライセンス契約（英語）の修正
- 基本売買契約書の内容確認
- シンガポールDAに関するモデルリリース契約（英語）のレビュー
- シンガポールにおける代理店保護法制の下調べ
- ジョブオファー撤回に関するご相談への回答案
- シンガポールにおける競争法に関するご相談へのメール報告文章案
- 依頼者からのご相談への返信メール文章案

■ その他の活動

- インターン期間中には、何度かパラリーガルの方々や事務員の方々、弁護士の先生方と昼食をご一緒する機会もありました。昼食の時間には、業務に関する話だけでなく、シンガ

² こうした多言語・多文化の環境で業務を行うことで、異なる言語や文化的背景を持つ方々と円滑にコミュニケーションを取ることの重要性を実感しました。

³ 昼休憩は1時間設けられており、休憩を開始する時間については、自分の業務の進捗状況に合わせて自由に決めることができました。

⁴ 毎週月曜日の午前10時から、LINEグループ上で週1回の会議が行われました。会議では、参加者が順番に、過去1週間に行った業務について報告しました。

ポールでの生活や文化についてもお話を伺うことができ、業務外でも皆様と交流を深める貴重な機会となりました。

- 帰国前日の夜には、もう1人のインターン生と、弁護士の先生方に事務所のすぐ近くにあるラオパサというホーカーセンター⁵に連れて行っていただきました。そこでご当地グルメやビールを楽しみながら、先生方と業務外でも交流することができ、インターン期間の最後に大変思い出深い時間を過ごすことができました⁶。

3 宿舎及びその他の生活環境について

・滞在先

宿泊先については、シンガポール人の学部時代の先輩や知人から情報を集めました。シンガポールでは交通費が比較的高いため、通勤にかかる費用を抑えることを重視し、また、滞在中の安全面やホテルの清潔さも考慮しました。宿泊費はやや高めではありましたが、事務所まで徒歩で通える範囲にあるホテルを選び、以下のホテルに滞在しました。

〔施設名〕 Mercure ICON Singapore City Centre

〔料金〕 180シンガポールドル（1泊あたり⁷）ほど。日本円で21,800ほど。

〔諸条件〕

- 事務所までは徒歩10分ほど。
- 近くにホーカーセンターや安いお弁当屋さんあり。
- ショッピングモール（Fair Price⁸などあり）に徒歩7分でアクセス可能。
- 2階にジムやコインランドリーあり（洗濯5SGD、乾燥5SGD⁹）。
- ロビーには無料で利用できるウォーターサーバーあり。
- ダウンタウン線のテロック・アイヤー（Telok Ayer）駅とエスカレーター付き通路で直結しており、雨に濡れずにアクセス可能。
- チャイナタウン駅やマクスウェル駅も徒歩圏内で、複数路線（ダウンタウン線、北東線、

⁵ シンガポールを中心にアジアで親しまれている、手頃な価格の屋台や飲食店を集めた大規模な屋外フードコート（屋台村）のことです。

⁶ 夕食の後には、もう一軒お店に連れて行っていただき、お酒を楽しみながら、先生方のこれまでのご経験や仕事に関する興味深いお話を伺うことができました。普段の業務中にはなかなか聞くことのできないお話も多く、大変楽しく、貴重な時間となりました。

⁷ 私は食事なしのお部屋を選びました。

⁸ シンガポールの「FairPrice（フェアプライス）」は、地元で広く親しまれているお手頃価格の大型スーパーマーケットです。

⁹ 私は乾燥機を使用せず、洗濯物は部屋で乾かしていました。

トムソン・イーストコースト線）が利用可能。

・食事

先生方とご一緒させていただく場合を除き、昼食は、事務所の地下にある飲食店や、事務所のすぐ隣にあるラオパサで食事をとることが多かったです。ラオパサでは、5～7SGDほど（日本円で約500～900円）で食事をすることができます¹⁰。

また、朝食や夕食は、ホテルの近くにある手頃なお弁当屋さんを利用することが多かったです。朝食は3～4SGDほど（日本円で約369～492円）、夕食は5.5SGDほど（日本円で約677円）で食事することができます。

・生活環境（気候・服装）

シンガポールは年間を通して気温が高く、インターン期間中も最高気温は30℃前後、最低気温は25℃前後でした。また、湿度も高いため、外を歩く際には暑さを感じることも多かったです。一方で、昼から夕方頃に突然雨が降ることがあるため、折りたたみ傘を持ち歩くと便利です¹¹。

インターン中の服装については、ビジネスカジュアルでも問題ありませんでした¹²。ただし、事務所内はセントラル空調がよく効いており、外との温度差が大きいため、薄手の羽織物があると便利です。

・生活環境（移動・交通機関）

滞在中の移動には、主に徒歩や地下鉄（MRT）を利用しており、タクシーやバスなどの交通手段は利用しませんでした。

MRTの乗車料金は、EZ-Linkカードという交通系ICカード¹³（空港や駅構内などで購入可能）や、Visa・Mastercardなどのクレジットカードで支払うことができます。

・生活環境（通信）

¹⁰ 食費を抑えるため、お弁当屋さんを利用する際には、主に野菜を選ぶようにしていました。たまに卵を加えることもありましたが、できるだけ費用を抑えるよう工夫していました。

¹¹ ただ、今回の滞在中は運がよく、昼間や外出した際に雨に遭うことはほとんどありませんでした。

¹² なお、会議室に入る際にはジャケットの着用が必要でした。そのため、インターン中はジャケットを1着用意しておくとう安心です。

¹³ なお、EZ-Linkカードに現金でチャージする場合は、手数料はかかりません。

□ Wi-Fi

事務所内ではWi-Fi¹⁴を利用させていただきました。また、空港や観光地などの公共的な場所では、無料Wi-Fiが基本的に整備されており、インターネットを利用する際に困ることはほとんどありませんでした。

□ 海外ローミング

私は普段からahamoを利用しており、海外ローミングについても、追加料金や事前の申し込みをすることなく、シンガポールでそのままデータ通信を利用することができました。そのため、滞在中は特に現地のSIMカードを購入する必要もなく、普段使用しているスマートフォンをそのまま利用しました。

4 出発に向けた準備等について

・ 面接

学内の説明会は参加できなかったですが、その後、学内メールの案内に従って、履歴書と志望理由書を提出して応募し、面接を受けました。

面接では、まず1名の先生から、自己紹介や好きな科目などについて英語で話すことを求められました。その後、2名の先生から日本語で補足的な質問を受けました。

・ その他

インターンの業務と直接関係のある科目は履修していませんでしたが、司法試験の選択科目として国際私法をとっており、今回のインターンで扱った業務と内容が重なる部分もありました。

・ 学内手続

渡航前の手続については、教務グループの方にご案内いただき、渡航届の提出や海外旅行保険への加入などを行いました。

・ 入国手続

□ SGAC

シンガポールへの入国には、Singapore Arrival Card (SGAC) への登録が必要です。Webサ

¹⁴ 事務員さんに尋ねました。

イトまたはアプリから、入国日の3日前（入国72時間前）から申請することができます。申請時には、氏名・連絡先、パスポート情報、入国経路（航空券の情報）などを入力します。

空港で手続きをすることもできますが、事前に申請しておくことで、入国手続きをよりスムーズに進めることができます。

□ ワークホリデーパス

ビザについては、指導担当の先生からご案内いただき、当初は所定のビザを取得する予定でした。しかし、私は28歳を超えており、対象年齢が25歳から28歳までという条件を満たしていなかったため、担当の先生の指示に従い、観光目的のビザ（短期滞在）で入国しました。

5 インターンシップに要した費用

〔宿泊費〕 283,400円ほど（13泊14日）

〔交通費〕 3000円ほど ※ 観光¹⁵や空港からの移動です。通勤は徒歩でした。

〔食費〕 16137円ほど

〔洗濯〕 4305円ほど

〔観光・お土産〕 7017円ほど

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

これからシンガポールでインターンに参加する方には、まず渡航前の準備を早めに進めておくことをおすすめします。特に、入国に必要な手続や保険への加入、通信環境の確認などは、余裕を持って準備しておくことと安心です。また、航空券やホテルについても、できるだけ早めに予約しておくことで、比較的安い料金で確保できる場合があります。そのため、インターンの日程が決まり次第、早めに予約することをおすすめします。

食事については、事務所周辺に比較的安く利用できる飲食店があり、ラオパサなどを利用することで食費を抑えることができます。MRTも便利で、滞在中の移動には主に徒歩とMRTを利用しました。

業務については、分からないことがあれば、先生方やパラリーガルの方々に積極的に質問することが大切だと思います。実際の法律実務に触れる貴重な機会なので、与えられた課題

¹⁵ 例えば、Merlion Park（マールライオン公園）は、ホテルから徒歩でアクセスすることができ、滞在中に気軽に訪れることができました。

に取り組むだけでなく、先生方がどのように業務を進めているのかにも注目すると、より多くのことを学ぶことができると思います。

さらに、業務だけでなく、現地の生活や文化にも積極的に触れてみることをおすすめします。インターンを通じて、法律実務だけでなく、海外で生活しながら働くことについても多くのことを学ぶことができました。

最後に、これからシンガポールでインターンに参加する方にとって、本報告書の内容が少しでも参考になれば幸いです。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

法科大学院で学んだ法律知識や、司法試験の学習を通じて身につけた法的思考力は、今回のインターンシップでも一部の業務で生かすことができました。法律や規制を確認した上で、具体的な事例への適用を検討する際に、これまで培った法的思考力を一定程度活用することができました。また、契約書の確認・修正を通じて、条文の意味だけでなく、各条項が当事者にどのような権利・義務を生じさせるのかを考えることの重要性を学びました。一方で、実務では、依頼者の立場や取引内容、相手方との関係など、様々な事情を踏まえて判断する必要があることを実感しました。これまでの学習内容を実務との関係で捉え直すことができ、大変有益な経験となりました。

シンガポールを訪ねるのは今回が初めてであり、法律事務所でインターンシップを行うことも初めてでした。今回のインターンシップでは、法律に関する知識や実務を学ぶだけでなく、多様な国籍や文化的背景を持つ人々が働く環境の中で、どのようにコミュニケーションをとり、協力して仕事を進めているのかについても学ぶことができました。日本とは異なる環境で実際に働く経験を通じて、法律実務だけでなく、異なる文化や価値観を持つ人々と関わる上での姿勢についても考える貴重な機会となりました。

この度は、貴重なインターンの機会をいただき、誠にありがとうございました。派遣にあたり温かいご支援をいただいた神戸大学の先生方・職員の皆様をはじめ、受け入れてくださった先生方やパラリーガルの方々には、日々の業務において丁寧にご指導いただき、分からないことがあった際にも親身になってサポートしていただきました。短い期間ではありましたが、実際の法律実務に触れる貴重な機会をいただき、多くのことを学ぶことができました。今回のインターンを通じて得た経験を今後の学業やキャリアに活かしていきたいと思えます。改めまして、このような貴重な機会を与えてくださった皆様に、心より御礼申し上げます。

以上。